

子どもとの出会いの中で学ぶこと ⑧

水沼 昭子

「Rちゃんて、眼が見えなくても平気なんだね、せんせい！」「手や耳でわかっちゃうんだよ、すごいね」未熟児網膜症で全盲のR子が入園して来た時、年長の女の子達がR子のまわりを取り巻いた。一週間ほど皆でR子の手を引いて園舎のあちこちを案内した。私達保育者はR子の入園に際して「ごくあたり前」を大切にしようと話しあっていた。だから取りたてて盲児である事を子供達に強調したり、父兄に「Rちゃんに親切にしてネ」と言わせたりしない様にして来た。

けれど入園してすぐに年長の女の子数名がR子の

お世話係になっていた。気にはなったが、そのまま見守る事にした。まさに、手取り足取りの介助ぶりである。R子のため……と云うよりも自分達の安定のためにお世話しているような年長児。無論、そんな事はご本人達の意識にはあるはずがないが、R子をかこむ、どの子も、年長になって新入園児がやって来たそのおちつかない雰囲気吞まれて、自分の遊びの場を見つけ出せずにいる様な子たちであった。

「親切」の洪水の中である日、R子は大声で泣いた。皆、戸惑ったり驚いたりしてR子を見た。いよ

いよ私達の出番がやって来た。せっかく親切にしてあげてるのにどうしたのか——と云う様な困った表情の子供達の前で、R子に聞いてみる。

「Rちゃん、どうしたの」「あっちがいいんだ、あっちへ行く」と泣きながらR子は答える。「ひとりで行けるよ」とさらに訴える。「そうか、Rちゃんは一人で歩いてみたいんだね、じゃ、泣かないでさう云えばよかったのに——。おねえさんたちびっくりしてるよ」と言葉を返す。

年長児達は彼女達にとって思わぬ出来事にキョトンとしている。「どうしてなの？ 眼が見えないのに——ぶつかったり、まいごになるよ」「自分の部屋わかんないよ、きつと」、不思議そうな表情で私に問いかけてくる「皆だって、一人で遊びたいときあるでしょ、Rちゃんだって、そうなんだとおもうな」「だってせんせい Rちゃん、眼、見えないんだよ」その事を先生は知らないの！ と云わんばかりの言葉の前で、私は言った。「眼は見えないけど、

手や耳が、その代りをするんだよ」そう説明しながら言葉を使いすぎて納得させようとしている自分はいやな思いがする。

年長児たちは「なんだか、わかんないけれど Rちゃんも泣いてるし、先生も大丈夫って云うから——」そんな気持でR子を一人で歩かせた。この出来事があったから、数ヶ月もたって「眼が見えなくても平気なんだね」「手や耳でわかっちゃうんだね、ほんとに」——あの時のお世話役のY子が私へ報告して来たのだった。Y子は、あのR子が泣いた日以来、いつも遠巻にしてR子をみていた。「困ったら助けてっていつてね」そう云ったY子。

そのY子が秋も深まった園庭でR子の前に立った。ちょうど、その近くで他の子供に関わっていた私の視線にR子とY子が入って来た。突然Y子はR子に落葉を手渡した「これなんだ？」手の中で落葉がカサコソ鳴る。「はっば!!」R子がうれしそうに答える。「あたり！」Y子の声。次にY子は石ころ

をR子に渡す。R子の手が石ころをなでる。「石ころ！」「あつたり！」又、Y子は他の物をR子の手に乗せる。R子は答える。「あつたり！」

その光景をオヤと思ひ、次にドキリとする。Y子はR子を試しているのだ。子供らしい表情をいっばいにして次々と試している。彼女の眼にとまる、いろいろ素材をR子の手に渡す。R子はゲームでもしている様にうれしそうに答える。

Y子は「すごいナ」「また、あつた」といいながら、とうとう自分のスモックのポケットのアップリケ、チューリップのアップリケをR子にさわらせる。「こんどは、いっとう むずかしいやつ！」

こうした場面に出会つてしまつて、私の心はおちつかなかつた。「もし、あたらなかつたら、どうしよう」「この場を逃げだす口実はないか」一見残酷なこの光景の前で弱腰になる自分を感じた。R子はアップリケをさわる。なでまわす。しばらくして

「おはな」と答える「そう やつぱり あたり、あたると思つたよ」Y子は、「やつぱり」に力を入れて言う。——そうしてY子は私に報告をしたのだった。

私は言葉を使いすぎる。説明、解説……わかりやすく話す……。子供たちは「言葉」で知つて行くのではない。自分たちが体験すること、自分流のやり方で理解して行く。子供たちにとっては「あたり前」の、また、一番、理解しやすい方法をみつけて仲間との関わりを持つとうとする。Y子とR子のやり取りを見ながら、おとなの思い過ぎや、薄っぺらい同情の思いが私の心に起つた。「まずい事がはじまつた」とも思つた。

しかし、Y子の思いは純粹で、R子を理解するための子供らしい方法であつたのだ。あれ以来Y子は安心してR子から離れたし、本当の仲間の様に対等な遊び相手になつていった。(千葉・愛隣幼稚園)